

令和3年度 第1回全国健康保険協会愛知支部評議会議事概要

日 時：令和3年5月11日（火）15：00～17：00

場 所：オンライン開催

出席者：石川評議員、河合評議員、坂本評議員、鈴木評議員、竹内評議員
田中評議員、宮武評議員、山口評議員（議長）（五十音順）

事務局：芦田支部長、山本企画総務部長、山西業務部長、後藤企画総務グループ長
寺岡保健グループ長、上田レセプトグループ長、宮本業務第一グループ長
松岡業務第二グループ長、佐竹企画総務グループ長補佐、小野主任

1. 令和3年度愛知支部事業計画及び具体的な取組み事項について

《保険証回収率の向上について》

【事業主】

・昨年度の保険証回収率は何%か。また、当社の場合、退職者から保険証はほぼ返却されるので、実情を詳しく教えてほしい。

（事務局）

・昨年度の愛知支部の保険証回数率は93.02%、全国平均は92.41%である。

【事業主】

・保険証が回収できない原因はどういったものが考えられるか。

（事務局）

・欠勤のまま退職し、連絡が取れないケースなどが考えられる。

【事業主】

・退職したら保険証を返却することは知っていても、退職日の翌日から保険証は使用できないことを知らない可能性もあるので、経営者側からも周知をしていく必要がある。

【被保険者】

・保険証回収のチラシの言葉が難しすぎる。マイナンバーカードによる保険証使用を進めていくべき。

【学識経験者】

・愛知支部のホームページにある「外国人向け健康保険案内チラシ」をもっと活用すべき。

機密性 2

《特定健診・特定保健指導の実施率向上について》

【事業主】

- ・特定健康診査実施率：36.2%（実施見込者数：100,000人）の算出方法を教えてほしい。（事務局）
- ・被扶養者（受診対象者数：276,325人）に、令和3年度の目標設定である36.2%をかけたものである。

【被保険者】

- ・コロナ禍の中、会場での集団健診を案内してよいものか。感染リスク等もあるが協会はどう考えているか。（事務局）
- ・健診機関には感染防止の徹底を依頼しているので、積極的に案内していただきたい。

【被保険者】

- ・受診者は増えているのか。（事務局）
- ・昨年度の上期は受診控えがあったが、下期は回復してきている。

【学識経験者】

- ・受診券再発行手続きが、まず申請書をダウンロードしてプリントアウト、それを記入して郵送となると、利用者にとっては手間がかかる。ダウンロードしたらそのままパソコンで入力してデータで申請できると手間も省けるし利用しやすい。（事務局）
- ・ご意見としていただく。

《健康宣言事業所の拡大》

【事業主】

- ・健康宣言をされている事業所は、従業員の家族の健康管理はどこまでされているのか。（事務局）
- ・プライバシーの問題もあるので、管理というよりは健診受診を勧めていただきたい。

【事業主】

- ・東三河地域の蒲郡商工会議所が、「健康経営」「健康宣言」に力を入れており、かなり件数も伸びているので、県内にある商工会連合会等の団体や組織への意識づけ活動を進めていけば、影響力もあるし健康宣言の数も増えていくのではないかと。

機密性 2

(事務局)

・東三河地域の「健康経営」「健康宣言」の取組みは先進的なものであるので、全国へ発信していきたいと考えている。

【被保険者】

・健康宣言好事例集は参考になるが、取組み内容はそれほど難しいものではないので、積極的にやるような働きかけができればよい。

特記事項

- ・傍聴者なし
- ・次回評議会は令和3年7月開催予定